



「CS」は、コミュニティ・スクールの略称です。

若基小CSだより

第4号

令和8年3月4日

◆◆第4回学校運営協議会を開催しました◆◆

3月4日(水)に第4回目の学校運営協議会を行いました。今回は、令和7年度の学校評価等について話し合いました。



【学校評価(最終評価)について】

① 学力の向上「一人一人が自分の考えを持ち、伝え合う児童の育成」

児童アンケートの結果	意見交換の内容
自分の考えを持つことができた→90% 自分の考えを伝えることができた→78% 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方へのお礼の手紙や宿題の日記を見ていると、具体的に気持ちが伝わる文章を書くことができている、書く力が向上していると思う。 ・日記を継続することで書く力が育っている。 ・書く力は伸びているが、伝える力に苦手意識を感じている児童が多いため、まずは、少人数のグループで伝える力を高めていけばよいと思う。 ・アンケート結果を低中高グループや学年ごとに示すことで、来年度へ向けての対策が取りやすくなる。

② 心の教育「自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動」

児童アンケートの結果	意見交換の内容
友達と仲良くできている→98% 良いことと悪いことを考えながら生活している→93%	<ul style="list-style-type: none"> ・友達とのトラブルがあった時には担任がすぐに対応するようにしている。また、管理職と情報を共有し、組織的に解決にあっている。保護者には、丁寧な説明を心掛けている。 ・早めの手立てができることも小規模のよさだと思う。

③ 心の教育「いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実」

保護者アンケートの結果	意見交換の内容
学校はいじめの防止等に組織的に対応している→94%	<ul style="list-style-type: none"> ・早期発見、早期対応は大切だが、予防的な対応も大切である。 ・毎月、実施しているアンケートも予防的措置の一つである。 ・学級経営に力を入れ、児童同士の関係づくりや児童と教師の信頼関係を構築することも予防的な対応として欠かせない。 ・昼休みに教師と児童と一緒に遊ぶことも多く、小さな変化に気づき、素早く、対応することにつながっている。

④ 心の教育「児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動」

児童アンケートの結果	意見交換の内容
先生が自分のよいところを認めてくれる→93% 将来の夢や目標を持っている→86% 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が考える将来の夢は、具体的な職業名ばかりではなく、優しい人、人の役に立つ仕事など、様々である。保護者からすると、優しい人や人の役に立つ仕事などは、具体性がないので夢と認識していない場合もあるのではないか。 ・家庭で子供と夢について共有する時間があるとよい。 ・学年が進むにつれて、夢から目標に変わっていく。また、自分を客観視できるようになるため、夢が変わっていくこともある。 ・来年度は、項目によって、児童と保護者アンケートの両方を成果指標にしてはどうか。

地域住民の皆様、学校運営協議会委員の皆様には、学習支援ボランティアや登下校の見守りなど、1年間、様々なご支援ご協力をいただき感謝申し上げます。皆様に温かく見守っていただいているおかげで、若基小学校の子供たちは、毎日穏やかに笑顔で学校生活を送ることができています。本当にありがとうございました。学校運営協議会委員の皆様からは「来年度も子供たちのためにできることがあれば教えてください」とうれしいお言葉をいただきました。来年度も、子供たちが安心して過ごすことができるような地域と共にある学校を目指して、教育活動を実践していきたいと思っております。

